

吹奏楽部の地域バンド創設に向けて

今、全国の学校で進められている「部活動の地域展開」。これは文部科学省が進めている取り組みで、学校と地域が協力して、子どもたちが地域の中で安心して活動を続けられる環境を整えることを目的としています。吹奏楽の分野は、楽器の管理や練習場所、指導してくれる人など、必要な条件が多く、地域化が難しい分野のひとつとされています。

一番大切なのは、「活動の場を減らさないこと」です。吹奏楽は「人・物・お金」の3つが同時に関わってくる分野です。指導してくれる人がいて、楽器や練習できる場所があり、そして移動や運営に必要なお金がある。そのすべてが整って初めて、日々の練習や発表が成り立ちます。少子化の影響で、1校あたりの部員数が減っているのも大きな課題です。「無理のない運営」をどう設計するかが大切になってきます。

～「吹奏楽の未来を地域とつなぐ（ヤマハが取り組む「地域展開」支援のかたち）」より～

■ 地域バンド 先進事例

□ 愛西マーチングバンド BLOWING Jr. (愛西市)

- 小学5年生～中学3年生（近隣の13の小中学校から）
- 吹奏楽顧問の経験のある現職の教員を中心に、一般バンド Aisai Marching Band BLOWING に所属する（所属していた）大学生や社会人が指導
- 愛西市の小中学校体育館や市のスポーツ施設で練習
- 音楽活動を通しての演奏技能の向上と同じ目的で集まった者同士の交流を図る。
- 毎週、日曜日の9時～18時
- 毎月の地域のイベント参加、吹奏楽連盟のマーチングコンテスト等参加

□ 豊田ユースバンド (名古屋市)

- 小学校4年生から大人まで、40人程度が参加（名古屋市立豊田小学校の在校生、卒業生）
- 豊田小学校の体育館で練習
- 演奏技能を高めたり、読譜する力が身についたりし、さらには異学年交流の場にもなっているため、多様な人間関係を築くことができる。
- 週2回（火曜夜・土日どちらかの午前）
- 地域の行事への参加やクリスマスシーズンに体育館で行う演奏会を実施
- 自由度が高いが公的な支援が無いため、すべて自分たちで行う必要がある。

□ つつじが丘ジュニアマーチングバンド (豊橋市)

- 豊橋を中心に小学3年から中学3年生が参加
- 小学校の体育館
- 活動は、週1回、土曜か日曜
- 地域のイベントやマーチング協会の大会等で発表
- 練習会場と楽器、指導者の確保が課題

□ 名古屋市 (朝日新聞 2025年9月30日より)

2025年10月から、「部活動の地域移行」の一環として、土日の学校での部活動を原則廃止する。営利目的の団体も参加可能で、指導者の報酬や交通費などの経費は、基本的に活動に参加する生徒側の負担となる。ただ、約30校あるという吹奏楽部にとっては、大きな課題がある。土日の練習場所として中学校の体育館などは貸し出されるが、防犯上の理由で校舎に立ち入れない学校もある。吹奏楽部では、大型楽器を中心に学校に置いてあるものを使う生徒は多いが、土日は楽器にすら触れないことになる。

市教委の担当者はこのことについて、「平日の部活動との連続性はなく、切り離される。個人で楽器を持っていれば練習に参加できる」。平日も、学校の部活動を民間団体のクラブ活動にしていくかどうかについては、「これから検討する」という。

■ 犬山市の現状

□ 現在は北部・南部休日合同バンド

- それぞれ50人程度が所属
- 指導者は吹奏楽部顧問・吹奏楽部指導員
- 練習場所 犬山中学校・東部中学校の音楽室および教室等

□ 吹奏楽部 年間活動費（令和6年度 A中学校 吹奏楽部員31名）

○ 連盟費	15,000円
○ コンクール参加費	81,500円
・ 吹奏楽コンクール 西尾張地区大会 10,000円・県大会 31,000円	
・ アンサンブルコンテスト 西尾張地区大会 8,000円・県大会 6,000円	
・ 個人重奏コンテスト 西尾張大会 12,000円・県大会 11,000円・本大会 3,500円	
○ バス代	253,000円
西尾張地区大会 121,000円・県大会 132,000円	
○ 楽譜代	97,000円
課題曲 17,000円・自由曲 50,000円・アンサンブル 30,000円	
○ 練習費	125,000円
ホール練習 100,000円・課題曲講習会 15,000円・ホール練習会 10,000円	
○ 講師謝礼	555,000円
市登録講師 455,000円・講師 100,000円	
○ 楽器修繕費	103,710円
○ トラック代	75,000円
吹奏楽コンクール 45,000円・ホール練習 30,000円	
○ その他（スプリングコンサート運営費）	5,000円
● 合計	<u>1,310,210円（1人平均 42,264円）</u>

■ 地域バンド創設に向けて

□ 犬山市内で2つの地域バンド

- 北部（犬山・城東中学校）・南部（南部・東部中）50人程度が所属
- 指導者は吹奏楽部顧問が兼職兼業、吹奏楽部指導員を予定しているが確保できていない。
- 練習場所は、今まで通り犬山中学校・東部中学校の音楽室および教室等を予定しているが、教職員が運営に携わらないときに教室等を使用できるのか？

□ 活動費

- 上記の年間活動費＋地域バンド代表の報酬（プロの指導者 時給4,000円）
令和6年度実績で1人43,000円程度必要＋α

解決しなければならない課題が多く、地域バンドの創設が見通せない状況